

## 概要報告書

2017 年度

事業種別	県域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 京都 DARC
事業名	農作業による就労支援から、より一步進んだ事業への挑戦

京都 DARC では薬物の問題を抱えながらも止めたいという依存症に陥った人たちの回復(社会の中で薬物を止め続けること、社会参加をし続けること)を支える為の居場所作り、手助けをすることを第一の目的としています。当事者であるスタッフが支援するという「セルフヘルプ」の理念を大切に、利用者の方に対し福祉サービス、医療機関との連携も行っています。回復に向かう基本となるミーティング(他の人の話を聞く。心を開き正直に自分のことを話す。)を中心に身体と心の健康を取り戻す為の運動プログラム、野菜を育てる農作業を継続して行っています。また地域との共生を目指し、ボランティア活動や地域のイベントのお手伝いなどに参加することで社会参加への足掛かりになるような支援に力を注いでいます。今年度の農作業として山科区、井手町の畑に 29 年 4 月から 30 年 2 月に掛けて計 37 回、のべ 301 名の事業の実施を行いました。山科区では土作りから始め四季を通じ野菜の栽培を行い地域の方や支援者の方にお配りしたり、昼食作りでの食材や 10 月に行われた京都 DARC フォーラムの祝賀会での食材として使うことが出来ました。また地域の「東九条まつり」のお手伝いをした時に出逢った方が紹介してくれた井手町の畑では休耕地の雑草を処理することから始め、助成金により購入した耕運機で耕し石灰、牛糞、鶏糞などを撒いて土作りし、6 月には収納する小屋を建てる事が出来ました。今後、収穫したにんにく・玉ねぎは他の作業所などにお配りする予定です。



注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。